

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	基礎構造系振動小委員会		主 査 名：宮本裕司 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度は刊行物の内容審議、執筆と講習会の開催、小委員会活動方針の審議 ・ 2 年度は非線形相互作用と建物応答、設計への組み込みをテ - マとしたシンポジウムを開催 (2006.12 に開催) ・ 3 年度は非線形相互作用を考慮した設計法についての検討作業。 ・ 4 年度は小委員会でシンポジウム、WG でワ - クショップを開催し、「非線形相互作用を考慮した建物応答と耐震設計法」について活動成果を報告。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：宮本裕司(鹿島) 幹事：飯場正紀(国総研) 栗本修(大林) 委員：新井洋(防災科技研) 古山田耕司(鹿島) 白瀬陽一(日建設計) 田村修次(京大防災研) 田守伸一郎(信州大) 中井正一(千葉大) 林康裕(京大) 福和伸夫(名大) 土方勝一郎(東電) 船原英樹(大成) 護雅史(名大) 吉澤睦博(竹中)		
設置 WG (WG 名：目的)	非線形相互作用を考慮した応答評価 WG： 建物応答に影響を与える非線形問題について、現状調査と課題の整理、および設計への組み込み方等について検討することを目的とする。		
2007 年度予算	440,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「建築振動工学の発展と耐震設計」 参加者数 109 名 『同名資料』(振動運営委員会全小委員会で共催)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会委員の研究報告とシンポジウムのテ - マを審議した。 2. 今期 WG 活動(4 回開催)を開始し、大地震時の非線形相互作用と建物応答についての文献調査とメンバ - の研究成果を審議した。また、ワ - クショップに向けて作業内容、担当を決定した。
委員会活動の問題点・課題	1. 2008 年度にはワ - クショップとシンポジウムを開催予定のため、スケジュールに合わせた委員会活動を進める必要がある。